

■■メールマガジン「静岡県防災」第56号■■

～ 11月は「地震防災強化月間」です ～

静岡県は、平成7年の阪神・淡路大震災を機に「静岡県地震対策推進条例」を制定し、「自らの命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」を地震対策の基本として、県民一人ひとりが防災の役割を果たすよう、広く啓発を進めています。

毎年11月の「地震防災強化月間」は、12月第1日曜日の「地域防災の日」を中心に実施される地域防災訓練に向け、県及び市町が地域の防災力を高めるための広報・啓発活動などを集中的に実施し、防災に対する県民意識の効果的な高揚を図ることを目的としています。

令和6年度の「地震防災強化月間」のスローガンは、「備えてた 過去の私に ありがとう」です。

今月のメールマガジンでは、スローガンにちなんだ、テーマを内閣府（防災担当）が作成・公開しているエピソード集「一日前プロジェクト」からご紹介します。

「母に学んで、地震に備え」阪神・淡路大震災（平成7年1月）

母に学んで、地震に備え ～お風呂に水ため、食料も買い置き～

（神戸市 20代 女性 学生）

私の家はお母さんが節約家だったのか、もともとのお風呂の水を洗濯に使っていました。みんなトイレの水がなくて、困っていたと思うんですけども、うちはその水があったからトイレを流すのは、当分はそれでまかなえました。

それから、食料が普通に買い置きしてあったんだと思うんですけども、豊富にあったので、食べ物には困りませんでした。

たぶん、普通の生活の中で節約をしながら、何かあったときのためにもなるという考えを持ってやってくれていたんだらうと思います。やっぱり、お母さんは偉いなって思いますね。

私も、いつもお母さんをみならって、明日地震が起きても、何とかなるぐらいの準備はしているつもりです。

内閣府（防災担当）一日前プロジェクト HP リンク

<https://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/ichinitimae/sgs/jt.html>